

1 多形腺腫由来癌（腺様嚢胞癌）の一例

2
3 ○小野寺清隆 斉藤信子 曾川紀子

4 山田千裕 米川球恵 大木昌二

5 (千葉大学医学部附属病院 病理部)

6
7 【はじめに】多形腺腫由来癌は唾液腺悪性混合腫瘍
8 のひとつで、既存の多形腺腫内に発生した癌腫と定
9 義されている。今回、多形腺腫由来と考えられる管
10 状型腺様嚢胞癌の一例を経験したので報告する。

11 【症例】50歳代、男性。右耳下部の疼痛を主訴に前
12 医受診し、穿刺吸引細胞診にてClassIIIa、当院での
13 再鏡検では、ClassIII（悪性を否定できず）とした。

14 【細胞診所見】前医での穿刺吸引細胞診、迅速時捺
15 印細胞診共にほぼ同様の所見で、背景は出血性、類
16 円形～卵円形核のN/C比の高い細胞が重積を伴う小
17 集塊状に出現していた。核クロマチンは顆粒状・濃
18 染し、小型核小体を認めた。集塊辺縁では結合性の
19 低下が示唆され、一部脂肪織への浸潤を疑われる所
20 見も見られた。細胞診では多形腺腫を示唆する明ら
21 かな所見は認められなかった。

22 【病理組織所見】摘出された腫瘍は肉眼的に、
23 6.5x5x3cm大で、内部に3x3x2cm大の境界不明瞭な
24 白色充実腫瘍を認めた。組織学的には、小型管腔形
25 成とこれを取り囲むN/C比の高い異型小型細胞から
26 成る胞巣や分岐・索状・シート状胞巣が浸潤性増殖
27 を呈し、神経周囲浸潤が顕著であった。免疫染色に
28 て腫瘍細胞はCAM5.2(+)、S100(+)、SMA(+)、p63(+)
29 Calponin(+)で、特に筋上皮への分化を示唆する腫瘍
30 細胞は胞巣辺縁に多く見られ、腺様嚢胞癌として矛
31 盾しない像であった。また、腫瘍内には硝子化した
32 間質や異型に乏しい上皮、筋上皮への分化を示す分
33 岐性胞巣や小嚢胞など多形腺腫の像が見られ、多形
34 腺腫由来癌と考えられた。

35 【まとめ】多形腺腫由来癌の癌腫成分としては、低
36 分化腺癌を主とする腺癌NOS、唾液腺導管癌などの
37 頻度が高く、腺様嚢胞癌は比較的稀とされている。
38 その他の免疫染色や文献的考察を加えて報告する。

39 043-222-7171 (内 6401)